

吹けば飛ぶよな男だが (1968)

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 91分

初公開日 1968/06/15

公開情報 松竹

【解説】

山田洋次監督の初期作品。脚本は山田と森崎東が共同で担当、撮影は高羽哲夫が務めた。やくざの世界、風俗の世界にそれぞれ生きる男と女にまつわる人情劇。なべおさみの熱演、小沢昭一の活弁ナレーションも話題に。

やくざの大物を夢見ているチンピラのサブ。仲間と共に家出少女・花子をたぶらかし、一儲けしようと試みるが、花子の必死の抵抗にほだされ、仲間を裏切って二人で逃亡する。お互いの境遇に親近感を覚えた二人であったが、かつての強姦による花子の妊娠が判明、それを知ったサブは自暴自棄になってしまう。殺傷事件を起こしたサブは逮捕されるが、拘置所に面会に来た花子と将来を誓い合う。しかし、出所後のサブを待っていたものは、思いもよらない現実であった。

【クレジット】

監督 山田洋次

製作 脇田茂

脚本 森崎東

山田洋次

撮影 高羽哲夫

美術 重田重盛

音楽 山本直純

出演 なべおさみ

緑魔子

犬塚弘

石橋エータロー

安田伸

石井均

芦屋小雁

小沢昭一

ミヤコ蝶々

Miyako Chocho

有島一郎

佐藤蛾次郎